取 扱 説 明 書

LET'S corporation

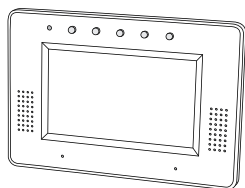
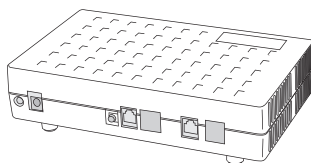
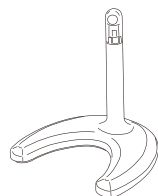
もくじ

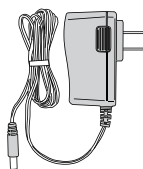
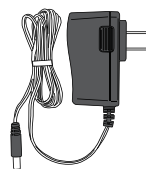
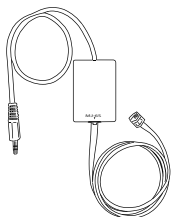
はじめに

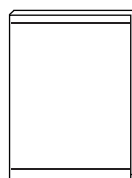
このたびは、減災ｍｉｎｉＳＯＨＯ（以降、本製品）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の機能を十分発揮できますように正しくお取り扱い、運用いただけますようお願い申し上げます。
この取扱説明書は付属品とともに大切に保管してください。

■ ご使用上の注意

○本製品および付属品の使用により生じた金銭上の損害逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても当社では一切その責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
○本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
○本製品の故障、誤作動、不具合あるいは停電などの外的要因によって、通信、データの消失、緊急地震速報受信など、逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきまして、弊社は一切その責を負いかねますのであらかじめご了承ください。
○緊急地震速報の遅延、震度や到着予想時間の誤差、誤報、不着などによる直接または間接的な損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責を負いかねますのであらかじめご了承ください。
また、直下型地震には対応していませんのであらかじめご了承ください。

製品構成

減災ｍｉｎｉＳＯＨＯ　本体

情報受信端末

スタンド（組立式）

ＵＳＢメモリ
（形状は異なる場合があります）

減災ｍｉｎｉＳＯＨＯ本体用
ＡＣアダプタ（灰色）
（５Ｖ／２Ａ）

緊急地震速報受信端末本体用
ＡＣアダプタ（黒色）
（１２Ｖ／１Ａ）

シリアル接続ケーブル

取扱説明書（保証書込み）本書

工事マニュアル

使用上の注意事項

本製品をお使いいただく上での注意事項です。
本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告　この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱をすると、製品本来の機能を十分に発揮できない可能性が想定される内容を示しています。

TIPS　この表示は本製品の取扱を簡便にしたりアドバイスなどを示しています。

⚠警告

電源について

■ 商用電源以外の禁止

AC100V家庭用電源以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁止

■ 電源の接続・電源コードの取扱注意

次の次項をお守りください。
誤った使い方をすると火災・感電の原因となります。

- 電源は確実にコンセントに接続してください。
- 電源コードは傷つけたり、破損したものを使用したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、高熱を発するものへ近づけたりしないでください。
- 濡れた手でコンセントに接続しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 長い間設置していると電源アダプタとコンセントの間にホコリが溜まることがあります。定期的にホコリを取り除いたり、コンセントへ深く差し込んだりメンテナンスを行ってください。
- 雷が発生した際は、電源アダプタには触れないでください。

注意
禁止
濡れた手で接触禁止
たこ足禁止

使用方法について

■ 分解の禁止

本製品を分解・改造しないでください。
また、本製品に改造した機器やケーブル（ＳＤカード、ＵＳＢフラッシュメモリ、ＬＡＮケーブルなど）を接続しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。
（修理や内部メンテナンスなどは販売店もしくは弊社までご依頼願います。）

分解・改造の禁止

設置場所について

■ 危険を伴う場所への設置の禁止

下記のような場所への設置はしないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

- 屋外（庭やベランダなども含む）
- 温度の高い場所（電子機器の上など）
- 湿度の高い場所や水を扱う場所（風呂場など）
- 火気の側や高熱を発する機器の側（台所など）
- 油飛びや湯気や水滴が当たるような場所（台所など）

水気のある場所への設置禁止
火気・高温機器周辺への設置禁止

■ 放熱を妨げる場所への設置の禁止

本製品に布をかぶせたり、箱の中など、通気性を損なうような場所へ設置をしないでください。
動作熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

■ 異物を入れないための注意

本製品に異物が入ると、水が入ると火災・感電・故障の原因となります。
一例として下記のようなものは本製品の付近に置かないでください。

- 花びん、飲料水などが入った容器
- 薬品の入った容器
- 化粧品
- 植木鉢
- 小さな金属類（画鋲やクリップなど）

水などが入った容器を付近に置かない

⚠注意

電源について

■ 電源コードの取扱注意

電源アダプタをコンセントから抜く際は、必ずアダプタ本体を持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源アダプタを抜く

■ 長期間使用にならないとき

安全のため、必ず電源アダプタを抜いてください。

電源アダプタを抜く

設置場所について

■ 不安定な場所へ設置しない

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下して故障やケガの原因となることがあります。

電源アダプタを抜く

■ 電磁波の発生する機器付近へ設置しない

テレビや携帯電話などの電磁波を発生する機器の付近に設置しないでください。
電磁波の影響でノイズが発生する可能性があります。

電源アダプタを抜く

■ 小さなお子様がいる場所での使用は特に注意する

小さなお子様がいる環境でご使用になる場合は、特に注意して設置してください。
設置場所によっては、落下などによりケガをする恐れがあります。

電源アダプタを抜く

■ 通信経路が断たれる恐れのある場所へ設置しない

本製品が正常に動作するための通信経路の確保に努めてください。
配線が抜け外れそうな状態での設置や、配線を物の下敷きにした状態での設置は、配線外れや断線などにより通信経路が断たれ、本製品の正常動作の妨げになる恐れがあります。

製品の管理について

■ 定期的に通信経路の点検を行うこと

経路に異常（配線やＡＣアダプタの抜け外れなど）があると、本製品が意図した動作をしない恐れがあります。必ず定期的に通信経路の点検を行ってください。

定期点検を行う

本製品に関する注意事項

本製品は、ＩＳＤＮ－Ｄチャネルパケットを利用した緊急地震速報受信端末に、フォトフレーム機能、音楽再生機能（ＭＰ３）を付加したものとなっております。
使用用途に応じて付属品以外で必要なもの（項目）がありますので、確認してください。

■ 緊急地震速報を利用する

- ＮＴＴ東日本（東日本電信電話株式会社）、ＮＴＴ西日本（西日本電信電話株式会社）が提供するＩＳＤＮサービス「ＩＮＳネット６４」、「ＩＮＳネット１５００」の契約（開通済みである必要があります）
- ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社が提供する「ＩＮＳ－Ｐ　Ｄチャンネルパケット」の契約（開通済みである必要があります）
- 弊社との配信契約
- 接点を利用して外部機器（構内放送など）と連動させる場合、外部機器と本製品の接点出力ポートを結ぶケーブル
（３．５φのステレオケーブル）

■ フォトフレーム機能を利用する

- ＪＰＥＧ形式の画像ファイル
- ＵＳＢポートを搭載したＰＣ
（ＪＰＥＧ形式の画像ファイルをＵＳＢメモリにコピーする際に必要）

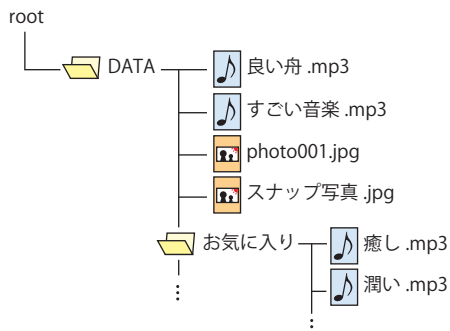
■ 音楽再生（ＭＰ３）を利用する

- ＭＰ３形式の音楽ファイル
- ＵＳＢポートを搭載したＰＣ
（ＭＰ３形式の音楽ファイルをＵＳＢメモリにコピーする際に必要）

弊社では、ＭＰ３ファイルの作成方法などの技術的なご質問には一切お答えできかねますのでご了承願います。

すべてのＪＰＥＧファイル、ＭＰ３ファイルで動作確認を行っておりませんので、再生できないものもございます。

ファイルの保存先

フォトフレーム機能で使用するＪＰＥＧファイル、音楽再生（ＭＰ３）で使用するＭＰ３ファイルの保存は、ＵＳＢメモリのＤＡＴＡフォルダ（半角英文字）に行ってください。
無い場合はＰＣ上でＤＡＴＡフォルダを新規に作成してください。
ＤＡＴＡフォルダ内のフォルダは、英語でも日本語でもお好きなファイル名・フォルダ名を入れることができます。
ただし、ディレクトリまでのパスがおよそ２０文字程度、ファイル名が２０文字程度に収める必要があります。

ＵＳＢメモリについて

本製品は、ＵＳＢメモリに対応しています。
別添のＵＳＢメモリをお使いください。
ＵＳＢメモリはスライドショーやＭＰ３再生で使用します。

拡張スロットについて

本製品は、拡張スロットを備えています。
拡張スロットは今後の製品機能向上のために使用を予定しています。（機能向上をお約束するわけではありません）

接点出力について

本製品は、接点出力端子を１つ備えています。
本製品が緊急地震速報をお知らせするときに必ずON になります。接点の遅延起動など、上位機器からの制御はできませんのでご了承ください。

緊急地震速報について

本製品の緊急地震速報は、ＮＴＴ東日本（東日本電信電話株式会社）、ＮＴＴ西日本（西日本電信電話株式会社）が提供するＩＳＤＮサービス「ＩＮＳネット６４」、「ＩＮＳネット１５００」を契約し、かつ、ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社が提供する「ＩＮＳ－Ｐ　Ｄチャンネルパケット」サービスの契約をして開通した回線を利用し、弊社との配信契約を行うことにより初めてお使いいただくことが可能となります。

本製品が受信する緊急地震速報は、気象庁から配信される「高度利用者向け緊急地震速報」となっており、一般的にテレビやラジオで受信できる「一般向け緊急地震速報」より詳細な情報が伝達されます。（「一般向け緊急地震速報」は、地震波が２点以上の地震観測点で観測され、最大震度が５弱以上と予測された場合に予測震度が伝達されますが、「高度利用者向け緊急地震速報」は震度５弱以下の場合も伝達され、予測到達時間も伝達されます。）※1

緊急地震速報はその性質上、震源地から緊急地震速報受信地までが近い場合、緊急地震速報が間に合わない場合があります。また、震源地から緊急地震速報受信地までが遠くても地震経路の地盤の具合や予報誤差により緊急地震速報が間に合わなかったり、誤差が生じることがあります。
深発地震の震度については、予想精度が十分でないため誤差が生じることがあります。

本製品の不具合が起因となった緊急地震速報の遅延、不達、誤報、不備、それに伴う二次的災害、配信される緊急地震速報の遅延、不達、誤報、不備、それに伴う二次的災害など、責任を負いかねますので予めご承知置き願います。

あくまでも「予報」であり、「警報」や「注意報」でないことをご承知置きください。

ＮＴＴ東日本・ＮＴＴ西日本・ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社が当該サービスを廃止または仕様変更した場合、弊社もサービス提供困難と判断し、予告・了承なく緊急地震速報サービスを中止することがあります。
その際に発生する損害等は、一切保証できかねますので、あらかじめご了承ください。

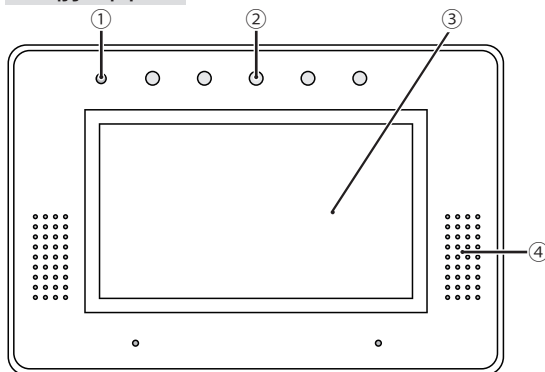
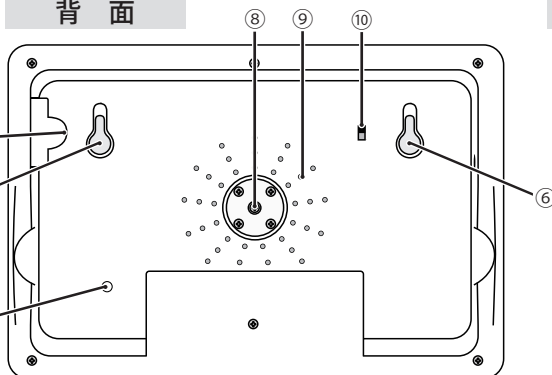
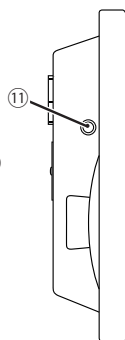
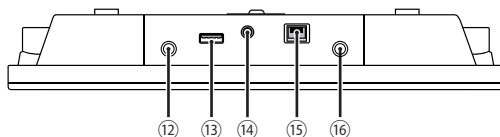
※１
２００９年１１月現在。
将来的に変更される可能性がありますので、最新情報は気象庁のホームページでご確認ください。

対応フォーマット

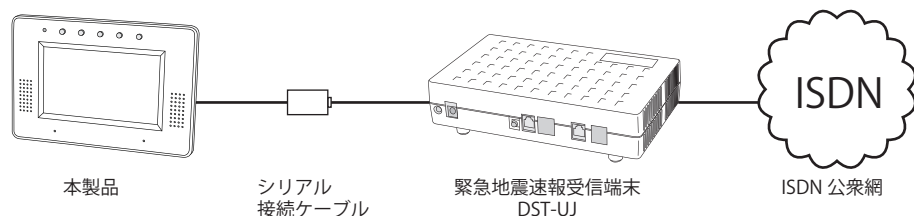
本製品が対応する各メディアファイルの詳細です。

◆ フォトフレーム
ＪＰＥＧファイル【拡張子：.jpg】
対応最大解像度：
最大ファイル数：1000 未満
推奨ファイル数：100 未満

◆ 音楽再生
ＭＰ３ファイル【拡張子：.mp3】
対応サンプリングレート：44.1kHz
対応ビットレート：16kbps 〜 320kbps
対応形式：CBR / VBR / ABR
最大ファイル数：１０００未満
推奨ファイル数：１００未満

各部名称

①	アラームＬＥＤ	緊急地震速報を受信した時などにＬＥＤが赤く点灯（点滅）します。
②	ボタン	画面の項目に対応した押しボタンです。
③	タッチパネル液晶	画面表示と操作（タッチパネル）を行います。
④	ステレオスピーカー	音声・緊急地震速報が流れます。
⑤	拡張スロット	拡張する際に使用するスロットです。
⑥	壁掛け用取り付け穴	壁掛けの際、この穴にねじ山などを引っかけます。
⑦	外部出力音量調整端子	外部出力音声の音量を調整します。（通常は操作しないでください）
⑧	スタンド取り付け穴	専用スタンドを取り付ける穴です。
⑨	通気孔	本製品の通気を行うための穴です。
⑩	電源スイッチ	本製品の電源のＯＮ（上）／ＯＦＦ（下）を行います。
⑪	接点出力ポート	接点出力ケーブル（３.５φステレオケーブル）を差し込みます。
⑫	オーディオ出力端子	音声を外部に出力するための端子です。
⑬	ＵＳＢメスポート	ＵＳＢメモリを差し込むためのポートです。
⑭	電源ソケット	専用ＡＣアダプタを差し込むソケットです。
⑮	ＬＡＮポート	受信端末からの回線を差し込みます。
⑯	シリアル端子	緊急地震速報受信端末と接続するための端子です。

取り付け・取り外し方法

接続構成図

※詳しい接続方法は、工事マニュアルを参照してください。

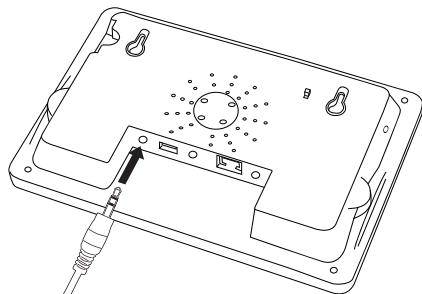
シリアル接続ケーブルの接続

本体底面のシリアル端子にシリアル接続ケーブルのピンジャック側を差し込みます。

オーディオケーブルの接続

３．５φステレオピンジャックを接続し、本製品の音声を外部音源に出力することができます。
オーディオ出力端子に、３．５φのステレオピンジャックを接続します。

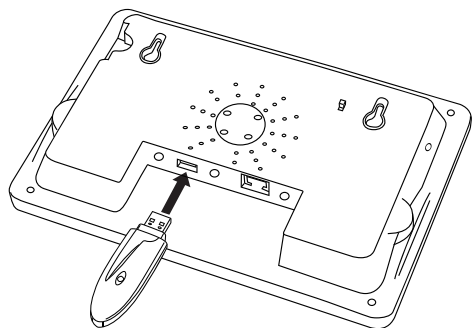
外部機器（接点）との接続

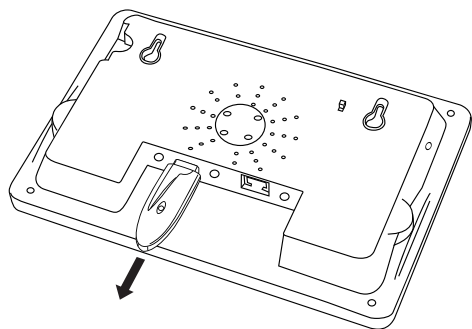
本体側面の接点出力ポートに外部機器の接点ケーブルを差し込みます。
（３．５φのステレオケーブル）

TIPS

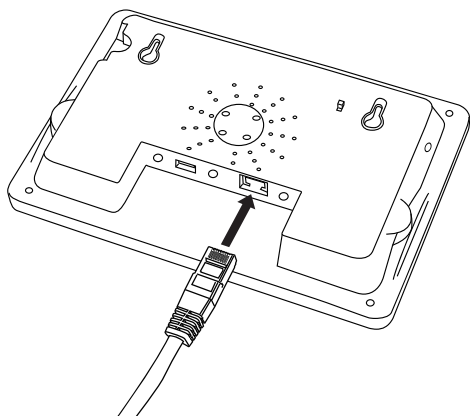
接点への出力は、本製品が緊急地震速報を受信したときに出力されます。

取り付け・取り外し方法 -2-

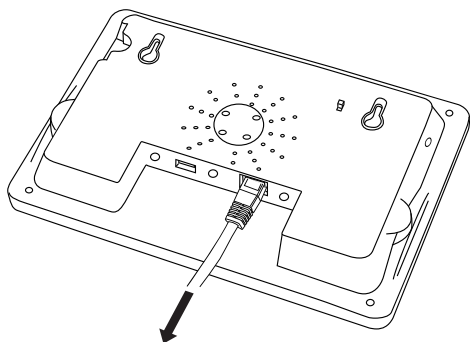
ＵＳＢメモリの取り付け

本体裏面のＵＳＢメスポートにＵＳＢメモリを差し込みます。
向きがありますので、よく確認してから挿入してください。

ＵＳＢメモリの取り外し

本体裏面のＵＳＢメスポートにＵＳＢメモリを差し込みます。
向きがありますので、よく確認してから挿入してください。

ＬＡＮケーブルの取り付け

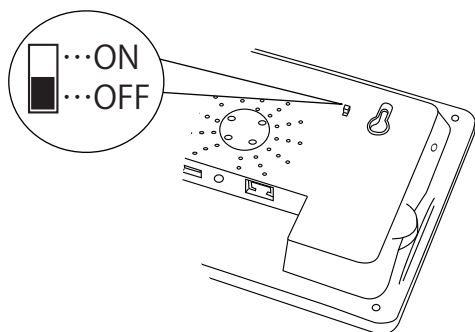
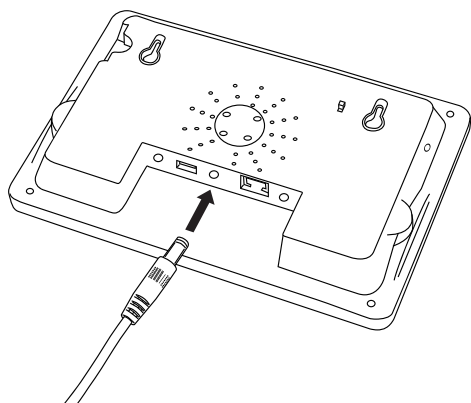
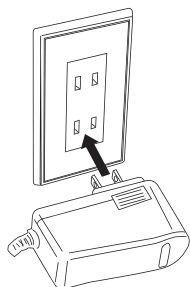
本製品のバージョンアップを行う（バージョンアップの有無を確認する）ときに、本体裏面のＬＡＮポートにＬＡＮケーブルを差し込みます。
コネクタにはツメがありますので、差し込む向きに注意して下さい。
通常、コネクタを奥まで差し込むとツメが引っかかり、「カチッ」と音が鳴ります。

ＬＡＮケーブルの取り外し

ＬＡＮケーブルのツメの部分を押さえ込み、引き抜きます。

注意

ツメの部分を押し込み引き抜くことで、容易に取り外すことができます。堅くて取り外しが困難な場合でも、力任せに引き抜かないで下さい。
本製品、ＬＡＮケーブルが破損する恐れがあります。

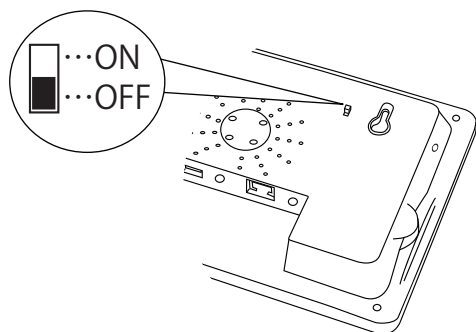
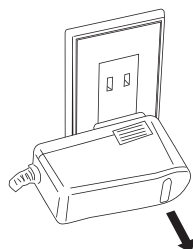
取り付け・取り外し方法 -3-

電源アダプタの取り付け

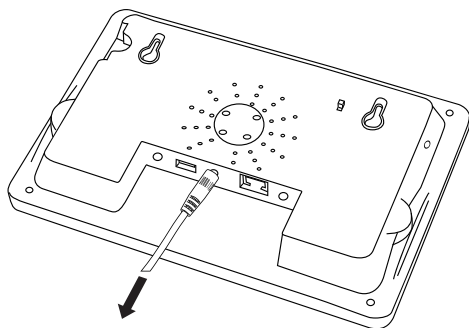
電源スイッチがＯＦＦ（下）になっているかを確認します。

本体に電源コネクタを差し込みます。

電源アダプタをコンセントに差し込みます。

注意

感電に注意してください。
たこ足ケーブルへの接続は避けてください。

電源アダプタの取り外し

電源スイッチがＯＦＦ（下）になっているかを確認します。

電源アダプタをコンセントから抜きます。

注意

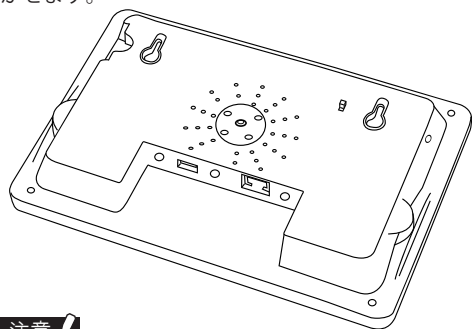
感電に注意してください。

本体の電源コネクタを抜きます。

注意

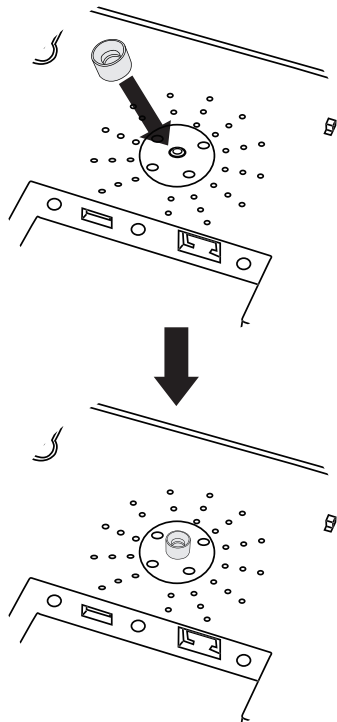
外したアダプタは、他製品のアダプタと混同しないように注意してください。

取り付け・取り外し方法 -4-

専用スタンドの取り付け

本体を平らな作業しやすい場所へ背面を向けて寝かせます。

注意

作業台と液晶部分の間に物が挟み込まれていないか確認をしてください。
物が挟み込まれた状態で力を加えると液晶が破損する恐れがあります。

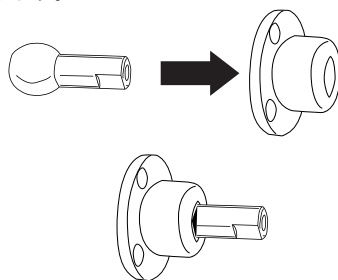
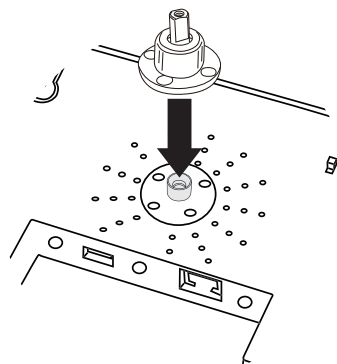
中央の出っ張りにスタンド取付金具メスを置きます。

注意

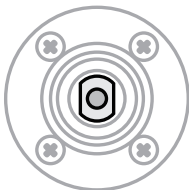
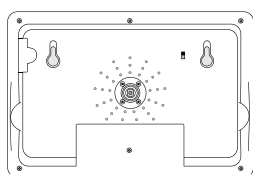
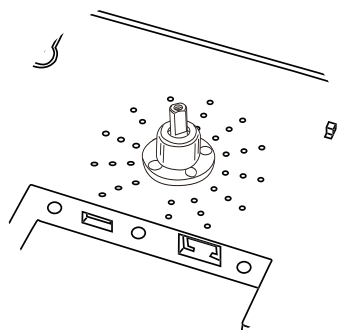
スタンド取付金具メスには向きがあります。
必ず丸みを帯びた部分が上になるように（見えるように）ように置きます。

スタンド取付金具メス
断面図

正しい配置

間違った配置

スタンド取付金具オスをアタッチメントの穴に差し込みます。

先ほど置いたスタンド取付金具メスの上にかぶせるようにアタッチメントを配置します。

取り付け・取り外し方法 -5-

本体側のねじ穴とアタッチメントの穴が一致するように調整します。
このとき、スタンド取付金具オスの向きが以下のようになるように注意します。

拡大図

注意

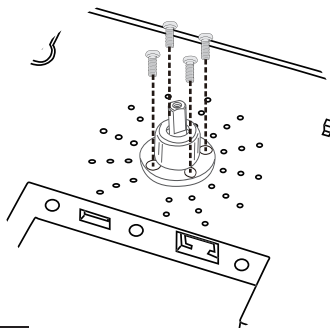
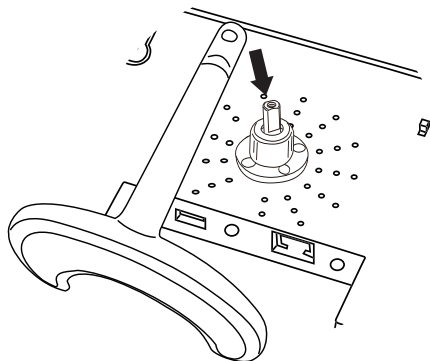
本体とアタッチメントの間に隙間が生じますが、正常です。（ねじを締めるときに埋まります。）

アタッチメントを６mmねじで４箇所固定します。

TIPS

ねじ１箇所を最後まで締めるより、４箇所を均等に締めていくと簡単です。

注意

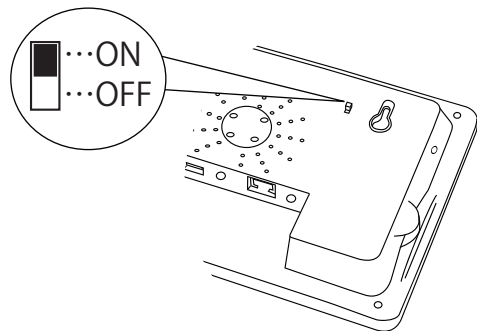
ねじ山に合ったドライバーを使用してください。
必要以上の力で締め続けないでください。
ねじ山が破損したりねじが締まらなくなります。

スタンド取付金具オスにスタンドを差し込みます。
スタンド取付金具オスとスタンドの差し込み穴には形状があり、一致しないと正しく差し込み出来ません。形をよく確認して正しく差し込んでください。

スタンドを固定します。
長いねじでスタンド頭部を固定します。

完成です。

電源のＯＮ／ＯＦＦ

すべての接続が完了しましたら、本製品の電源を入れます。

電源を入れる（ＯＮ）

本体背面の電源スイッチを上にします。

画面にロゴが表示されます。

白画面が続いた後、緊急地震速報のロゴが表示されます。

「重要なお知らせ」が表示されます。
内容を良くお読みください。

重要なお知らせ

・本装置は気象庁からの緊急地震速報を通知し、被害を減少させることを目的とした装置であり、防止するものではありません。

・本装置、及び配信システム上のあらゆる障害による、緊急地震速報の配信の遅延や欠落、表示の有無に関わらず、発生したいかなる損害についても、株式会社レッツコーポレーションは責任を負いません。

・現在の緊急地震速報の技術では、直下型地震のように、緊急地震速報が間に合わないものがあります。あらかじめご承知置き願います。

「重要なお知らせ」に記載されている内容は下記の通りです。

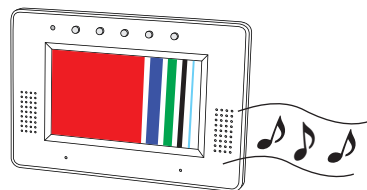
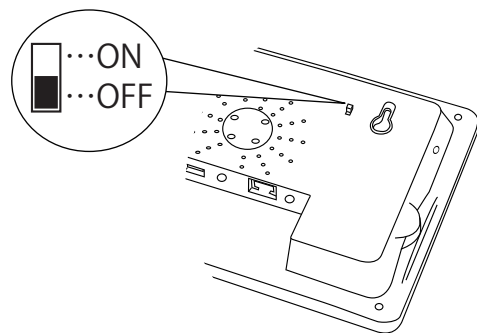
本製品は気象庁からの緊急地震速報を通知し、被害を減少させることを目的とした装置であり、防止するものではありません。

本製品及び配信システム上のあらゆる障害による、緊急地震速報の遅延や欠落、表示の有無に関わらず、発生したいかなる損害についても、株式会社レッツコーポレーションは責任を負いません。

現在の緊急地震速報の技術では、直下型地震のように、緊急地震速報が間に合わないものがあります。あらかじめご承知置き願います。

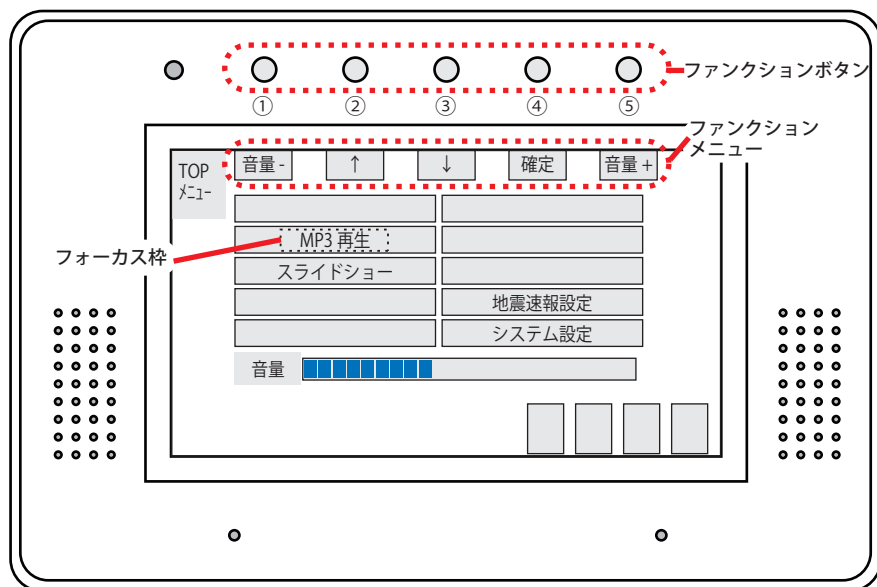
内容に同意できない場合は、速やかに使用を中止してください。

電源を切る（ＯＦＦ）

スライドショー、または音楽再生中であることを確認します。

本体背面の電源スイッチを下にします。

注意

設定画面や設定画面からスライドショーへの移行時などでは電源を切らないでください。
故障の恐れがあります。
ＵＳＢメモリを脱着する場合は必ず本製品の電源を切った状態で行ってください。

基本的な操作方法

本製品を操作する上で必要になる基本的な操作方法です。

ボタンでの操作

便宜上、ボタン左から①～⑤で説明いたします。
本体上部にあるファンクションボタンと、タッチパネル液晶上端のファンクションメニューが対応しています。
ファンクションメニューの項目は内容により変動します。

例えば、上図で [地震速報設定] を選択したい場合、③（または②）のボタンを数回押して [地震速報設定] までフォーカス枠を移動し、④のボタンを押すことで選択します。

タッチパネルでの操作

ファンクションメニューはすべてタッチパネルでも動作します。選択したい項目を指の腹で軽くタッチすることで選択します。

注意

必要以上の力でタッチパネルを押さないでください。液晶が破損する恐れがあります。

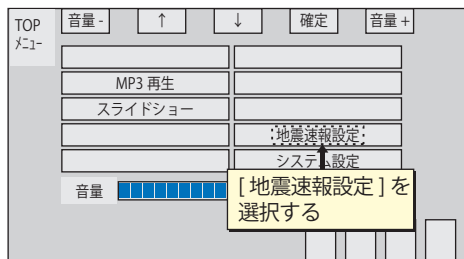
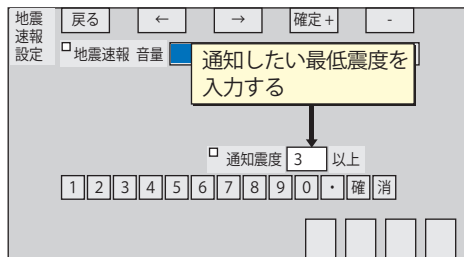
項目説明

◆ファンクションボタン
タッチパネル液晶上部のファンクションメニューに対応しています。
押すことで、タッチパネル液晶に表示されている項目の動作を行います。
また、スライドショーなど再生時に押すことでＴＯＰメニュー画面を呼び出します。

◆ファンクションメニュー
各項目の動作などが表示されており、タッチすることでその動作を実行します。
項目はメニュー内容により変動します。

◆フォーカス枠
文字の周りに破線の四角形が表示され、現在フォーカスのある項目を示しています。
主にファンクションボタン操作でフォーカスを移動する際の目安として使用します。

初期設定

ＴＯＰメニューから [地震速報設定] を選択します。

通知震度を設定します。
ここで設定した震度以上の緊急地震速報を受信した場合に本製品が通知します。（図１）
（5-、5+、6-、6+ は、それぞれ５弱、５強、６弱、６強を表します。）

緯度・経度・地盤増幅率・通知震度の入力を終えたら、[戻る] ボタンを押してＴＯＰメニューへ戻ります。

以上で初期設定は終了です。

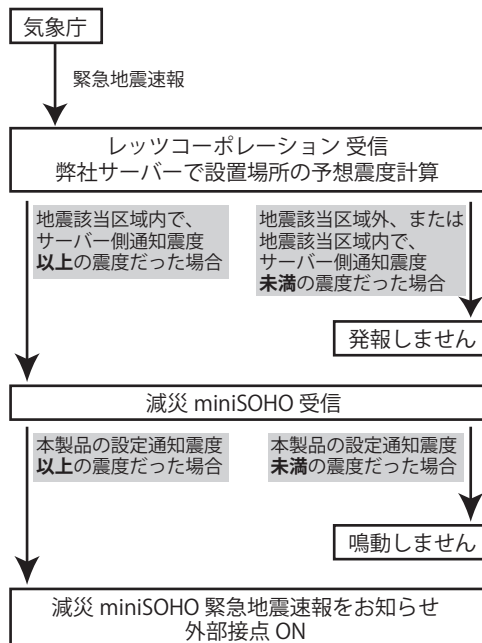
TIPS

２４時間３６５日受信待機状態となりますので、考慮した上で適切な通知震度を設定してください。

注意

通知震度を誤った値で登録してしまうと意図した震度でお知らせできない場合があります。
今一度、正常な値が設定されているかを確認して頂くと共に、定期的に設定の確認していただくことをおすすめします。
また、テレビニュースなどで発表される震度と本製品に配信される地震震度は異なる場合があります。あらかじめご承知おきください。

図１．緊急地震速報をお知らせするまでの流れ

通知震度は、本製品をお買い上げいただいた時に書面にて申告いただいたサーバー側通知震度と、本製品の設定通知震度の２つがあります。

■サーバー側通知震度と本製品側通知震度の例

震度		本製品が鳴動する震度
サーバー側設定	本製品側設定	
2　以上	2　以上	2　以上
3　以上	3　以上	3　以上
4　以上	4　以上	4　以上
2　以上	4　以上	4　以上
4　以上	2　以上	4　以上
5　以上	2　以上	5　以上

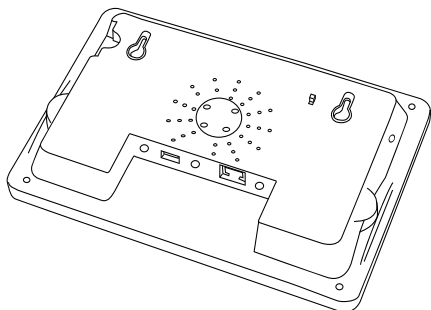
TIPS

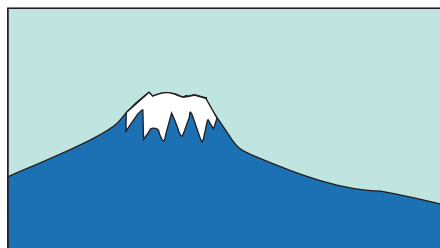
サーバー側通知震度と本製品の設定通知震度を比べ、設定震度の大きい値が本製品の鳴動する震度となります。
サーバー側通知震度と本製品の設定通知震度が同じ場合は、同じ値が本製品の鳴動する震度となります。

スライドショー

スライドショーを実行するための手順を説明いたします。
スライドショーを行うためには、あらかじめＵＳＢメモリに、対応した画像ファイルを入れておく必要があります。
詳しくは６ページ [ファイルの保存先]、７ページ [対応フォーマット] を参照してください。

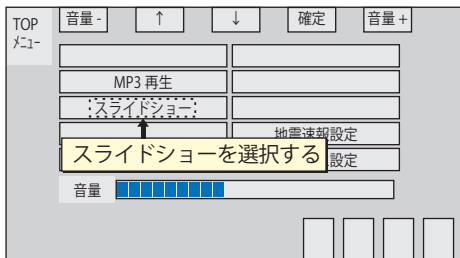
1. 画像データの入ったＵＳＢメモリを差し込みます。

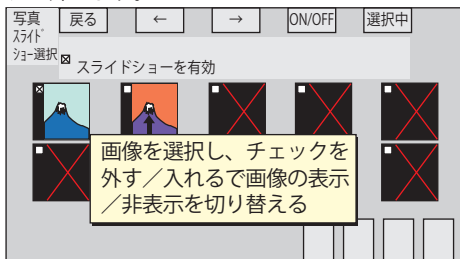
画像データは必ず対応したフォーマットで、[DATA] フォルダに入れてください。

2. しばらくするとスライドショーが開始されます。

スライドショーの設定で、[スライドショーを有効] にチェックが入っている場合に自動的に開始されます。

TIPS

ＴＯＰメニュー画面からも、しばらくするとスライドショーに移行します。
ただし、ＴＯＰメニュー以外のメニュー画面からは移行しません。
画像ファイルが見つからなかったり、ＵＳＢメモリに入っていなかった場合は何も表示されず黒い画面になります。

写真の選択

スライドショーで表示する画像を選択することができます。
ＴＯＰメニューより [スライドショー] を選択します。

画像の選択画面が表示されます。
[スライドショーを有効] にチェックが入っていないと、スライドショーを行いません。
チェックが入っている場合は、スライドショーを行います。
スライドショーで表示したい画像を選択するため、[選択] ボタンを押します。

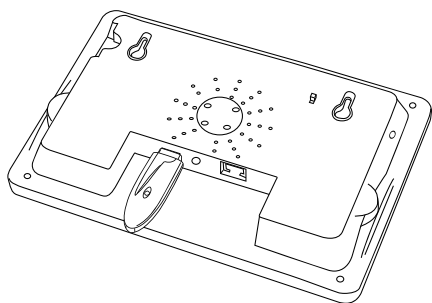
[選択] ボタンが [選択中] に変わります。
この状態で、非表示にしたい画像を選択し、チェックを外します。

[戻る] ボタンでＴＯＰメニューに戻り、しばらく待つとスライドショーが開始されます。

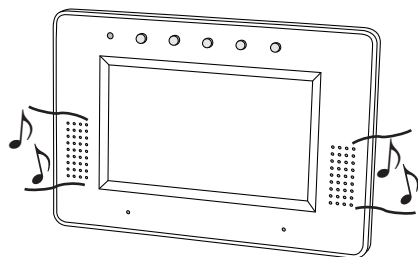
ＭＰ３の再生

ＭＰ３を再生するための手順を説明いたします。
ＭＰ３の再生を行うためには、あらかじめＵＳＢメモリに、対応したＭＰ３ファイルを入れておく必要があります。
詳しくは6ページ [ファイルの保存先]、７ページ [対応フォーマット] を参照してください。

また、動作環境や状況､ＭＰ３ファイルとの兼ね合いにより音飛びが発生する可能性があります。あらかじめご承知おきください。

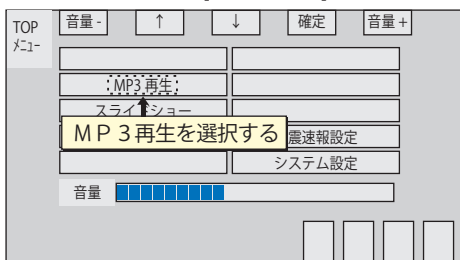
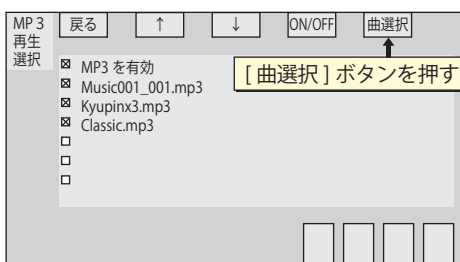
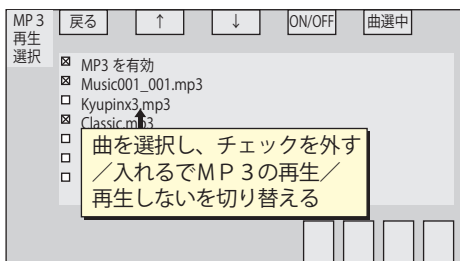
1. ＭＰ３データの入ったＵＳＢメモリを差し込みます。

ＭＰ３データは必ず対応したフォーマットで、[DATA] フォルダに入れてください。

2. しばらくするとＭＰ３の再生が開始されます。

ＭＰ３再生の設定で､[ＭＰ３を有効]にチェックが入っている場合に自動的に再生を開始されます。

TIPS

ＴＯＰメニュー画面からも、しばらくするとＭＰ３再生を開始します。
ただし､ＴＯＰメニュー以外のメニュー画面からは再生を開始しません。

ＭＰ３の選択

ＭＰ３再生で再生する音楽することができます。
ＴＯＰメニューより [ＭＰ３再生] を選択します。

ＭＰ３の選択画面が表示されます。
[ＭＰ３を有効] にチェックが入っていないと､ＭＰ３の再生は行いません。
チェックが入っている場合は､ＭＰ３の再生を行います。
ＭＰ３再生で再生したい音楽を選択するため、[曲選択] ボタンを押します。

[曲選択] ボタンが [曲選中] に変わります。
この状態で、再生から外す曲を選択し、チェックを外します。

[戻る] ボタンでＴＯＰメニューに戻り、しばらく待つとＭＰ３再生が開始されます。

注意

再生曲順はフォーマット後にＭＰ３ファイルを登録した順番となります。変更はできません。

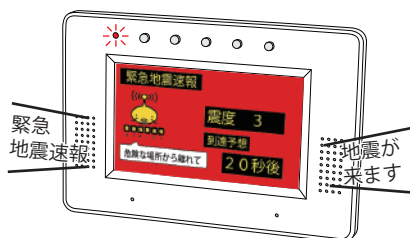
緊急地震速報の受信

緊急地震速報の受信は、すべての動作より優先的にで表示されます。
到達予想時間（秒単位）と、予測震度が表示され、アラームＬＥＤが点滅し、警報音と到達予測までの秒数カウントダウンを行います。

1. **緊急地震速報を受信すると、警報画面が表示されます。**

2. **合わせて、音とアラームＬＥＤで緊急地震速報をお知らせします。**
接点出力がＯＮになり、外部機器（構内放送など）が接続されている場合動作を開始します。

注意

本製品や緊急地震速報受信端末の電源が入っていないときや、起動中には緊急地震速報を受信できません。
緊急地震速報はその性質上、直下型地震には対応できません。
また到達予想時間や予想震度には誤差が生じます。
あらかじめご了承願います。

TIPS

地震に備え、日頃から訓練を行うことが重要となります。
日頃から地震に備えておくことが重要となります。
気象庁では、緊急地震速報に関するしくみと心得のビデオを公開しています。

項目説明

1. ＴＯＰメニュー

すべての設定を行うためのメニュー画面です。

音量 -

ＭＰ３再生時の音量を下げます。

↑

カーソルを上へ移動します。

↓

カーソルを下へ移動します。

確定

項目を決定します。

音量 +

ＭＰ３再生時の音量を上げます。

MP3 再生

ＭＰ３再生の設定を行います。

スライドショー

スライドショーの設定を行います。

地震速報設定

緊急地震速報に関する設定を行います。

システム設定

本製品全般に関する設定を行います。

音量

ＭＰ３再生に関する音量を設定します。
（緊急地震速報の音量は別となります。）

状態表示アイコン

ＭＰ３再生、スライドショーのＯＮ／ＯＦＦを
アイコンで表示しています。

ＯＮ

ＯＦＦ

ＭＰ３
再生

ｽﾗｲﾄﾞ
ｼｮｰ

2. ＭＰ３再生

ＭＰ３を再生するための設定項目です。

戻る

ＴＯＰメニューに戻ります。

↑

カーソルを上へ移動します。

↓

カーソルを下へ移動します。

ON/OFF

項目のＯＮ／ＯＦＦを切り替えます。

曲選択

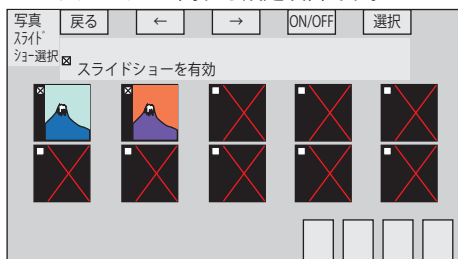
ＭＰ３を選択するときに押します。押すと、
[曲選中] に変わり、ＭＰ３を選択することが
できます。チェックされたもの（☒）が再生
されます。

☒MP3 を有効

ＭＰ３再生の有効／無効を切り替えます。
チェックされた状態（☒）が有効を表します。
チェックされていない状態ではＭＰ３は再生
されません。

3. スライドショー

スライドショーに関する設定項目です。

戻る

ＴＯＰメニューに戻ります。

←

カーソルを左へ移動します。

項目説明 -2-

→

カーソルを右へ移動します。

ON/OFF

項目のＯＮ／ＯＦＦを切り替えます。

選択

スライドショーを行う画像を選択するときに押します。押すと、[選択中] に変わり、画像ファイルを選択することができます。チェックされたもの（☒）がスライドショー再生されます。

☒スライドショーを有効

スライドショーの有効／無効を切り替えます。チェックされた状態（☒）が有効を表します。チェックされていない状態ではスライドショーは行われません。

4. 地震速報設定

緊急地震速報の設定項目です。

戻る

ＴＯＰメニューに戻ります。

←

カーソルを前の項目へ移動します。
または、地震速報の音量を下げます。

→

カーソルを次の項目へ移動します。
または、地震速報の音量を上げます。

確定 +

数字ボタンにフォーカスがあるとき、ボタンを確定します。

☒ 通知震度

本製品でお知らせする緊急地震速報の最低震度を入力します。ここで設定した震度以上でなければ本製品はお知らせしません。
震度は数字ボタンを使い入力します。

注意

サーバー側の通知設定震度にも依存します。
詳しくは、[初期設定] を参照してください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ・ 確 消

数字ボタンです。緯度・経度・地盤増幅率を入力する際に使用します。
[確] ボタンは入力項目を確定します。
[消] ボタンは入力された値を１文字消去します。

5. システム設定

本製品のシステム設定項目です。

戻る

ＴＯＰメニューに戻ります。

←

カーソルを前の項目へ移動します。
または、バックライトの明るさを下げます。

→

カーソルを次の項目へ移動します。
または、バックライトの明るさを上げます。

確定 +

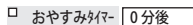
数字を加算します。
または、数字ボタンにフォーカスがあるとき、ボタンを確定します。

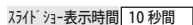
-

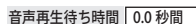
数字を減算します。

ﾊﾞｯｸﾗｲﾄの明るさ

タッチパネル液晶の明るさを [確定 +][-] ボタンを使い指定します。

☐ おやすみﾀｲﾏｰ 0 分後

１０分単位最大１８０分まで指定できます。
チェックの付いた状態（☒）で有効です。

ｽﾗｲﾄﾞｼｮｰ表示時間 10 秒間

スライドショーで画像の表示時間を指定します。

音声再生待ち時間 0.0 秒間

緊急地震速報の音声・表示に遅延を持たせます。
本製品が緊急地震速報を受信してから指定待ち時間後に表示・音声の出力を行います。
接点端子から外部機器を制御する際に、起動時間などで遅延が必要な場合に使用します。

項目説明 -3-

Model No. : GMH01

本製品のモデル番号（型番）が表示されています。

Version : LXGH09010101

本製品のバージョン番号（ファームウェア番号）が表示されています。

MAC Address : XXXXXXXXXXXX

本製品のＭＡＣアドレスが表示されています。

製品仕様

本体部	
モデル名	ＧＭＨ０２
電源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
消費電力	２．５Ｗ（最大４．２５Ｗ）
重量	約６２０ｇ（スタンドは含まず）
本体寸法	幅２４０mm × 高さ１６０mm × 奥行３７mm（スタンド・突起物除く）
使用条件	温度：５℃～３５℃（屋内用）　結露無きこと
表示部	
画面サイズ	７Ｖ型　幅１５４mm × 高さ８７mm × 対角１７７mm
表示方式	透過型ＴＦＴカラー液晶方式
駆動方式	ＴＦＴアクティブマトリックス駆動方式
画素数	横４８０ × 縦２３４ ×３（ＲＧＢ）　３３６，９６０画素
バックライト	ＬＥＤ方式
警告ランプ	赤色ＬＥＤ１灯
音声出力部	
内蔵スピーカー	スピーカー（２ｃｈ　ステレオ）
外部音声出力	オーディオレベル出力（１ｃｈ）
操作部	
電源スイッチ	スライド式スイッチ
操作スイッチ	プッシュスイッチ（５個）
タッチパネル	アナログ抵抗膜方式
外部音声ボリューム	精密ドライバーによる回転式
端子部	
ＤＣ入力	付属の電源アダプタ専用
ＲＪ－４５	ネットワーク接続用　１００ＢＡＳＥ－Ｔ　×１
ＵＳＢ	ＡタイプＵＳＢフラッシュメモリ
拡張スロット	将来拡張用
接点出力	ピンジャック（口径３．５φ）　外部無電圧接点（１接点）
音声出力	ピンジャック（口径３．５φ）　外部アンプとの接続用
シリアル通信	ピンジャック（口径３．５φ）　上位通信装置とのシリアル接続用
付属品	
電源アダプタ	入力：ＡＣ１００Ｖ　出力：ＤＣ５Ｖ／２Ａ　コード長：約１．８ｍ
取扱説明書（保証書付き）	１冊　保証期間１年
工事マニュアル	１冊
シリアル接続ケーブル	１つ
ＵＳＢメモリ	１つ
スタンド	１台　角度調整機構付き

●仕様及び外観は改善のため予告無く変更する場合があります。